

- 夢プロのこじ
- れいめい教職員コラム
- ジャンプアップれいめい中生！生徒の成長を紹介
- 四コマ劇場「タフだぜ！たふやん」

れいめい中学校があなたの成長を応援する広報誌

三人 だから できること

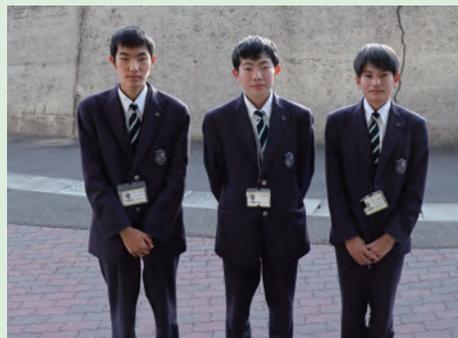
答えてくれたのは、内閣府・経済産業省主催の政策アイデアコンテストで、一次審査を突破したグループ「ロードステーション」の外菌さん、別府さん、長谷部さんの3人。

3人が選んだのは「いちき串木野市」。農作物や魚介類など、美味しい食材がたくさんあるいちき串木野市の魅力をより効果的に発信するために、今ある施設をリノベーションして、魅力的な道の駅のような観光施設を作る！というテーマで発表を行いました。夢プロでは様々なことを学べる事ができたようです。

（外菌）「物事を俯瞰的に見る事ができるようになったと思います。また、同じような政策を違う市町村でやっているときに、良い効果が出ているところとそうでない所にはどんな違いがあるか、比較して考察する。といった力がついたかなと思います。」



れいめい中夢発見プロジェクト、略して「夢プロ」。グループごとに調べたい地域とテーマを決めて、その地域が抱える課題やその解決策、魅力をPRする方法などを考え、スライドにまとめ、プレゼンテーションを行う、という活動を行っています。今回は発表を終えた3年生へのインタビューをご紹介します。



三人で取り組む中で感じたそれぞれの印象も聞きました。

外菌さんについて（ほか2名より）

パソコンがとても上手。パソコンのプロ。先生方も知らないことを良く知っていて、とても助かった。

長谷部さんについて（ほか2名より）

表現力がとても豊か。発表の中にあっただ移動販売は、長谷部君のアイデア。人とは少し違う視点で面白い発想でアイデアをたくさん出してくれたので助かった。

別府さんについて（ほか2名より）

デザインやアニメーションがとても上手。スライドにたくさん出てきた挿絵は別府君のデザイン。聞いている人に伝わりやすい工夫をたくさん施してくれた。

3人はお互いのことを「●●のおかげで…」と褒め合っていました。これからもお互い高め合いながらチャレンジしていきましょう。

学びたいを支えたい

—れいめい教職員コラム—

あなたを応援したい教員が、交替で書くコラム。内容は、勉強のことから趣味のことまで様々です。

社会で活躍している人は、必ずチャレンジをして失敗しています。何事にも失敗はつきものですが、ただ落ち込むだけではなく結果を素直に受け止めて自分の至らなかつた点を反省し、次に生かしていくという姿勢が大切です。たとえ成功しなくても、あなたにしか得られない学びを見つけて、以前の自分よりも確実に成長します。決して無駄なことはないのです。それでも「自分にはできない」「あんまりやる気が出ない」と考える人もいるでしょう。でもみなさんの周りには勉強や部活、課外活動など努力に値するものがたくさん転がっています。やらない理由を探す前に、まずはやってみてはいかがでしょうか？

「失敗を恐れずに果敢に挑戦！」

生徒と話していると、「失敗したくない」「面倒くさいからやりたくない」と消極的な発言を耳にすることがあります。しかし生徒はもちろん、人は誰でも「成功して充実した人生を送りたい」と思っているはずですよ。それではどうすれば成功することができるのでしょうか。

そのためには自分なりの夢を持つことが必要です。次に夢の実現に向けて行動を起こさなければなりません。この段階で躊躇して失敗を恐れたり、面倒くさいという気持ちが勝ってしまったらして、なかなか第一歩を踏み出すことができないケースが多いです。しかし、やらなければ失敗をしないかわりに成功することも絶対にありませんし、思い悩んでいるうちに時間だけが過ぎていき、貴重な中学校3年間を無駄にしてしまいます。

社会で活躍している人は、必ずチャレンジをして失敗しています。何事にも失敗はつきものですが、ただ落ち込むだけではなく結果を素直に受け止めて自分の至らなかつた点を反省し、次に生かしていくという姿勢が大切です。たとえ成功しなくても、あなたにしか得られない学びを見つけて、以前の自分よりも確実に成長します。決して無駄なことはないのです。それでも「自分にはできない」「あんまりやる気が出ない」と考える人もいるでしょう。でもみなさんの周りには勉強や部活、課外活動など努力に値するものがたくさん転がっています。やらない理由を探す前に、まずはやってみてはいかがでしょうか？



2年生担任
木ノ下 健太郎
(平佐東小出身)
教科：数学

ジャンプ U R れいめい 中生!

1年1組。英語の授業時間を訪ねました。楽しげな声が響く教室には、どんな学びがあるのでしょうか。授業の様と、生徒たちへのインタビューを掲載します。



今日の授業は、グリーティングカードの制作、その仕上げの時間。グリーティングカードは、年中行事に合わせ、あるいはそれ以外でも、親しい人との間で交わされるカードのことで、これにメッセージを英語で書くという、多くの中学校でも行われている活動ですが、一味違うのはこのクラスの雰囲気です。



中学1年生
おか 賢さん
(永利小出身)

岡さん(永利小出身)が作成したのは、母親に送るカード。餅エリアンというキャラクターを生み出し、母と餅を食べ比べた思い出を表現しています。

岡さんは英語の授業がとにかく楽しいそうです。「みんなで楽しもうっていう雰囲気があるし、質問もしやすいので自由に活動できます。」それぞれが楽しみながらも、共通の目的をもって活動しているようです。



担任で教科担当の有馬智美先生が、授業の説明を始めると、ごく自然に生徒が発言を始め、盛り上がっていきます。役割分担をする時にも、次々に手が挙がり、申し合わせていたかのようにスムーズに進行していきます。



その後、それぞれが好きのように自分の作業を始めました。時おり、有馬先生も混じって、色使いやデザインの話し合いを行います。にぎやかに進行していき、一見すると個人が自由にふるまっているように見えます。しかし、生徒同士の会話や発言を聞いていると、互いを認め合い称賛する言葉が多いことに気づきます。

湯浦さん(東郷学園出身)のクリスマスカードは子どもっぽい雰囲気にして、両親とクリスマスを楽しみたい気持ちをこめました。クリスマス感を演出し、そこに物語性を持たせたのです。

「このクラスは個性豊かです。私は物語がすごく好きで、そんなところもみんなイイねって言ってくれます。」



れいめい生徒会所属のくま(?) 不屈不撓の心をもつ「たふやん」の日常を描く四コマ劇場



冬毛



中学1年生
ゆうら ひかる
湯浦 光琉さん
(東郷学園出身)

この一年で成長してきた1年1組は、教員も生徒も共感し認め合う雰囲気が流れる素敵なクラスでした。



れいめいの取り組みが分かる
公式ホームページはコチラ→



「れいめい中 School Life」もホームページから!!